

ADVANTEST®

2022年度（2023年3月期） 第2四半期決算説明会

2022年10月27日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



2022年度第2四半期決算報告

取締役 兼 経営執行役員

CFO & CCO (Chief Financial Officer & Chief Compliance Officer)

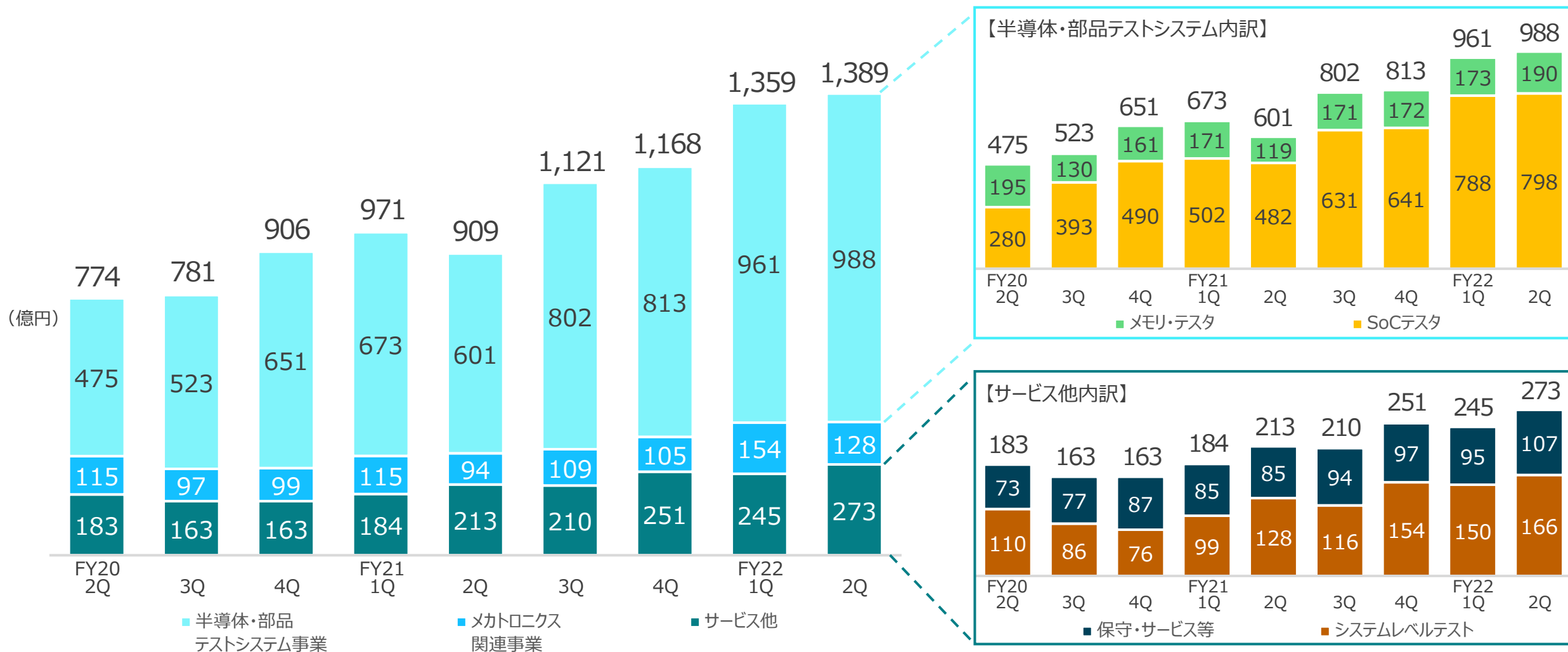
管理本部長 藤田 敦司

四半期業績推移

(億円)

	FY21				FY22							
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		前期比		前年同期比		
						予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率	
売上高	971	909	1,121	1,168	1,359	1,341	1,389	+29	+2.1%	+480	+52.8%	
売上総利益	547	501	648	663	789	-	799	+9	+1.2%	+298	+59.7%	
売上総利益率	56.4%	55.0%	57.9%	56.7%	58.1%	-	57.5%	-0.6pts		+2.5pts		
営業利益	261	214	335	337	448	405	431	-17	-3.7%	+218	+2.0倍	
営業利益率	26.9%	23.5%	29.9%	28.8%	32.9%	30.2%	31.1%	-1.8pts		+7.6pts		
税引前四半期利益	257	216	340	350	484	409	468	-16	-3.3%	+253	+2.2倍	
四半期利益	193	159	257	264	365	305	347	-18	-5.0%	+188	+2.2倍	
四半期利益率	19.9%	17.5%	22.9%	22.6%	26.8%	22.7%	25.0%	-1.8pts		+7.5pts		
為替レート	1米ドル	109円	110円	112円	115円	124円	130円	135円	11円 円安		25円 円安	
	1ユーロ	131円	131円	130円	130円	134円	140円	139円	5円 円安		8円 円安	

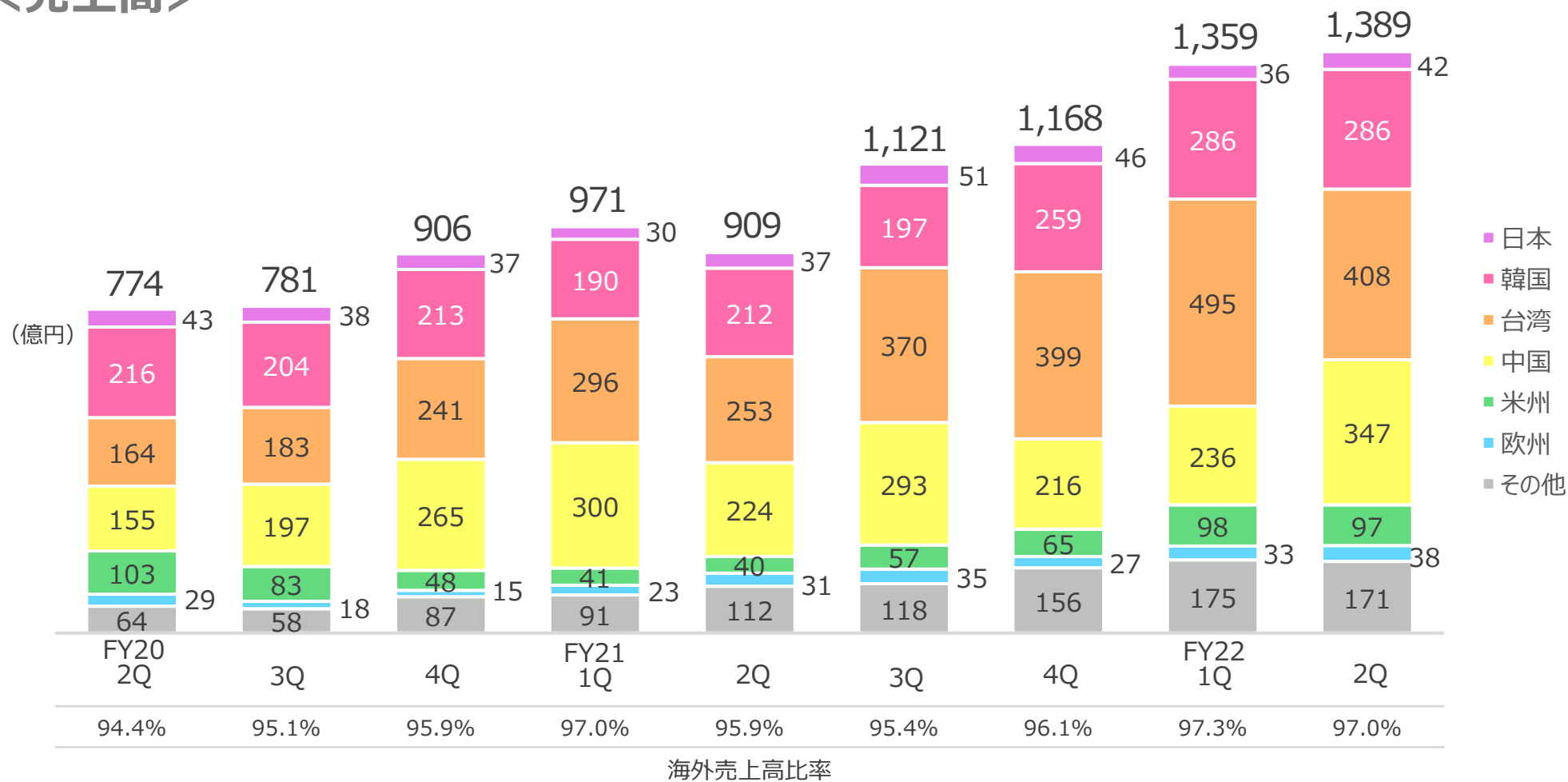
四半期売上高 事業セグメント別



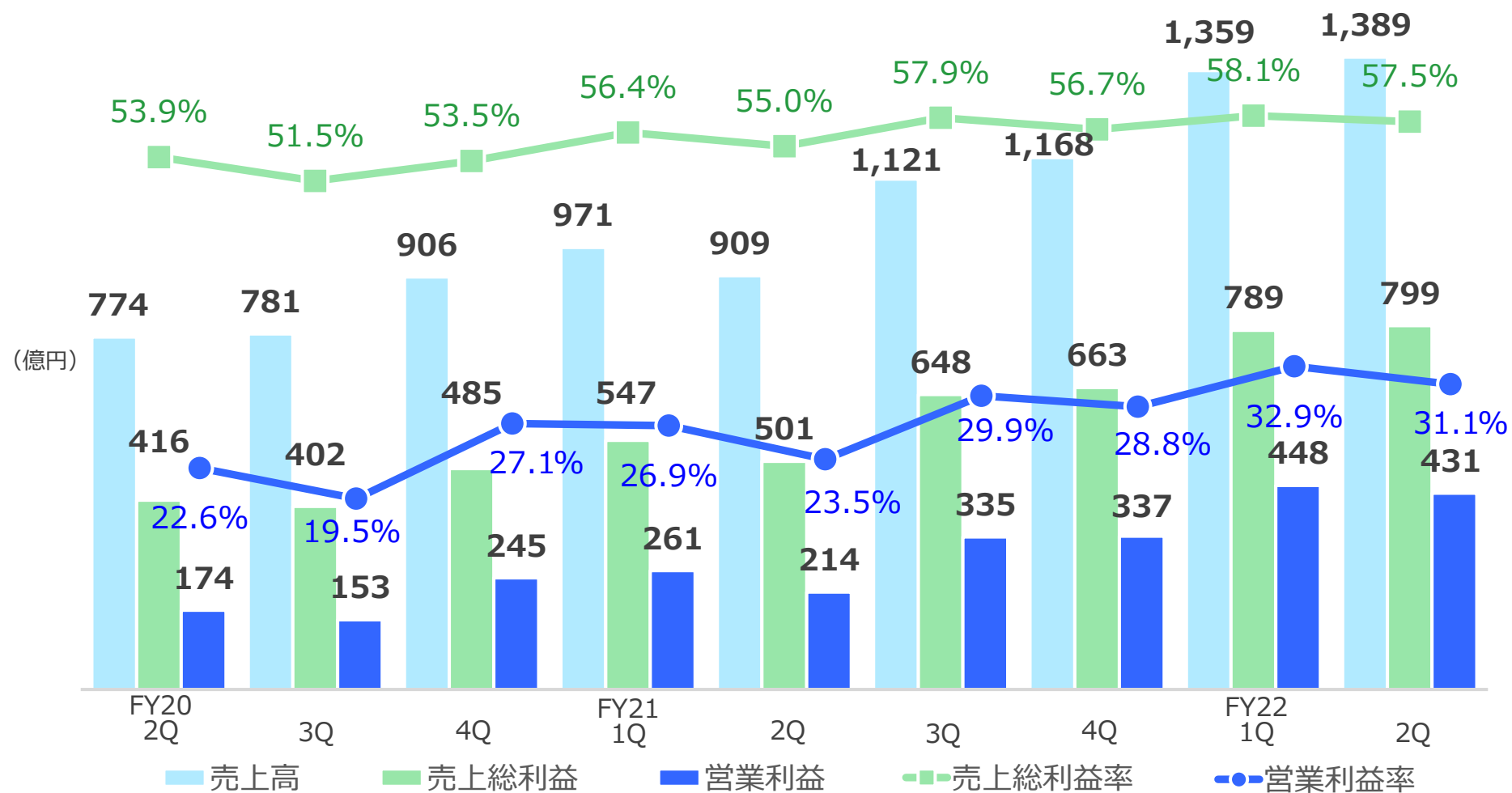
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期売上高 地域(出荷先)別

〈売上高〉



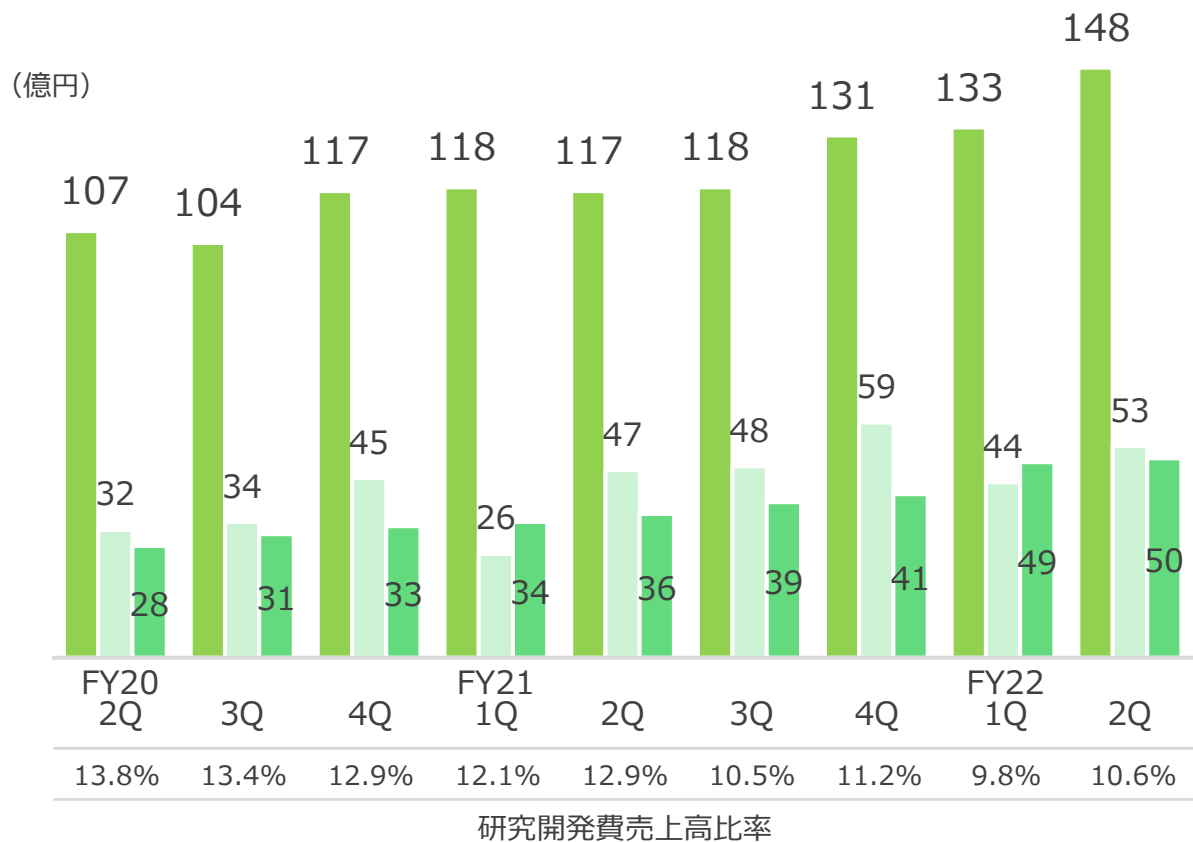
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

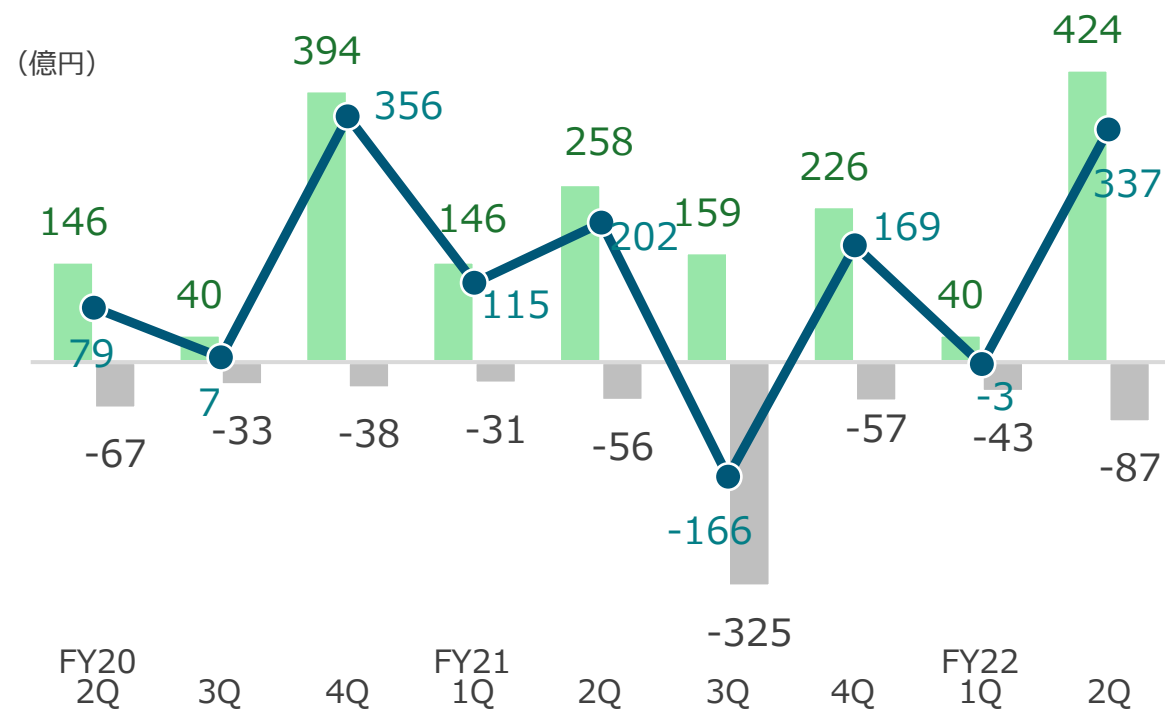
<投資等>

- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



<キャッシュ・フロー>

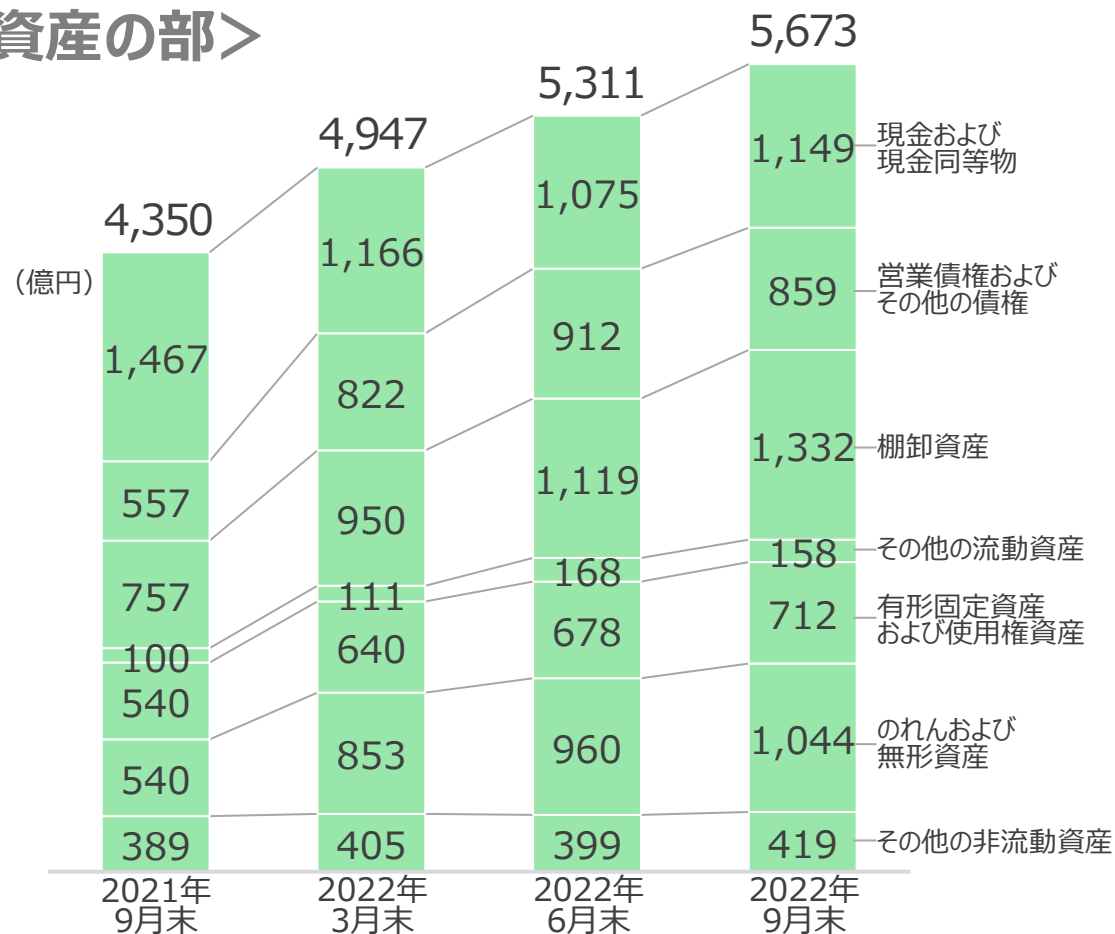
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



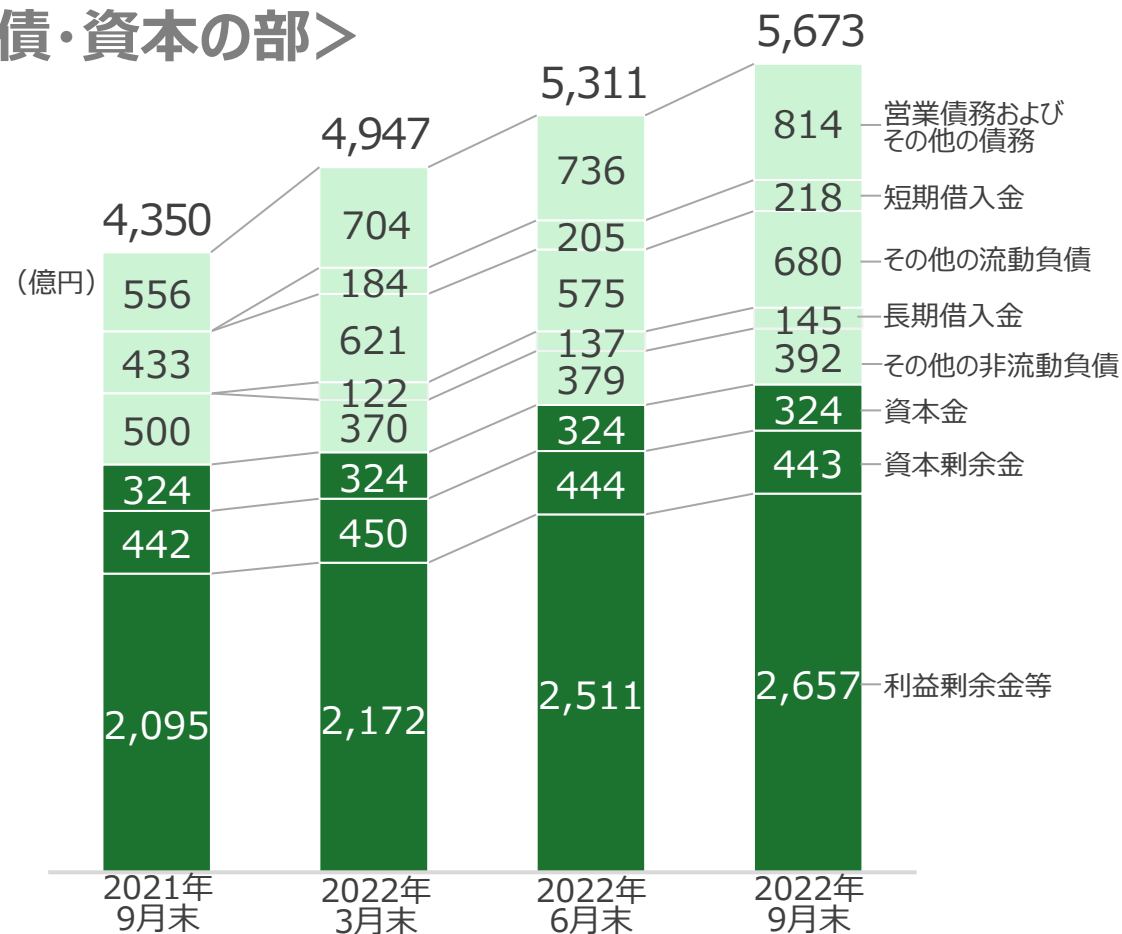
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,861	2,946	3,279	3,424
親会社所有者 帰属持分比率	65.8%	59.6%	61.7%	60.4%

2022年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

事業環境と半導体テスト市場の動向 <22年10月時点の見方>

<事業環境：景気後退懸念がさらに深まる>

- 地政学的リスクの高まり、インフレ進行や金利上昇などの世界経済の先行きに対する不透明感はさらに増大。加えて、米国による中国向け輸出規制の強化など、半導体市場における不確実性も高まる

<半導体市場：顧客やアプリケーションごとで半導体需要はまだら模様を呈する>

- スマートフォンやパソコン、テレビなど主要民生機器向け半導体の需要は減少し、関連する半導体メーカーでの在庫調整や製造装置の投資計画を見直す動きも強まる
- 社会のデジタル化の進展を支えるデータセンターやAI関連の需要は底堅さを持続しており、中長期的には自動車や産業機器向けなどを含め需要増を期待

<半導体テスト市場：CY22はCY21と同水準を見込む>

- データセンター向けハイ・パフォーマンス・コンピューティング（HPC）やAI関連、ハイエンド・メモリなど、高性能半導体の技術進展や品質保証強化に伴うテスト需要が、民生品向けのテスト稼働調整、投資計画の見直しの動きを補う

	CY21実績	CY22推定
SoCテスト市場	約\$4.3B	約\$4.1-4.4B (7月時点推定: 約\$4.4B - 4.8B)
メモリ・テスト市場	約\$1.3B	約\$1.2-1.3B (7月時点推定: 約\$1.2B - 1.3B)

Source: Advantest

FY22業績予想

(億円)

	FY21	FY22						
		実績	上期実績		下期予想	通期予想	前年度比	
			1Q実績	2Q実績			増減額	増減率
売上高*1	4,169	1,359	1,389	2,748	2,752	5,500	+1,331	+31.9%
営業利益	1,147	448	431	879	821	1,700	+553	+48.2%
営業利益率	27.5%	32.9%	31.1%	32.0%	29.8%	30.9%	+3.4pts	
税引前利益	1,163	484	468	952	788	1,740	+577	+49.6%
当期利益	873	365	347	712	588	1,300	+427	+48.9%
当期利益率	20.9%	26.8%	25.0%	25.9%	21.4%	23.6%	+2.7pts	
研究開発費	484	133	148	281	319	600	+116	+24.0%
設備投資	180	44	53	97	173	270	+90	+50.0%
減価償却費	150	49	50	99	111	210	+60	+40.0%
為替レート*2	1米ドル	112円	124円	135円	130円	130円	130円	18円 円安
	1ユーロ	130円	134円	139円	137円	140円	138円	8円 円安

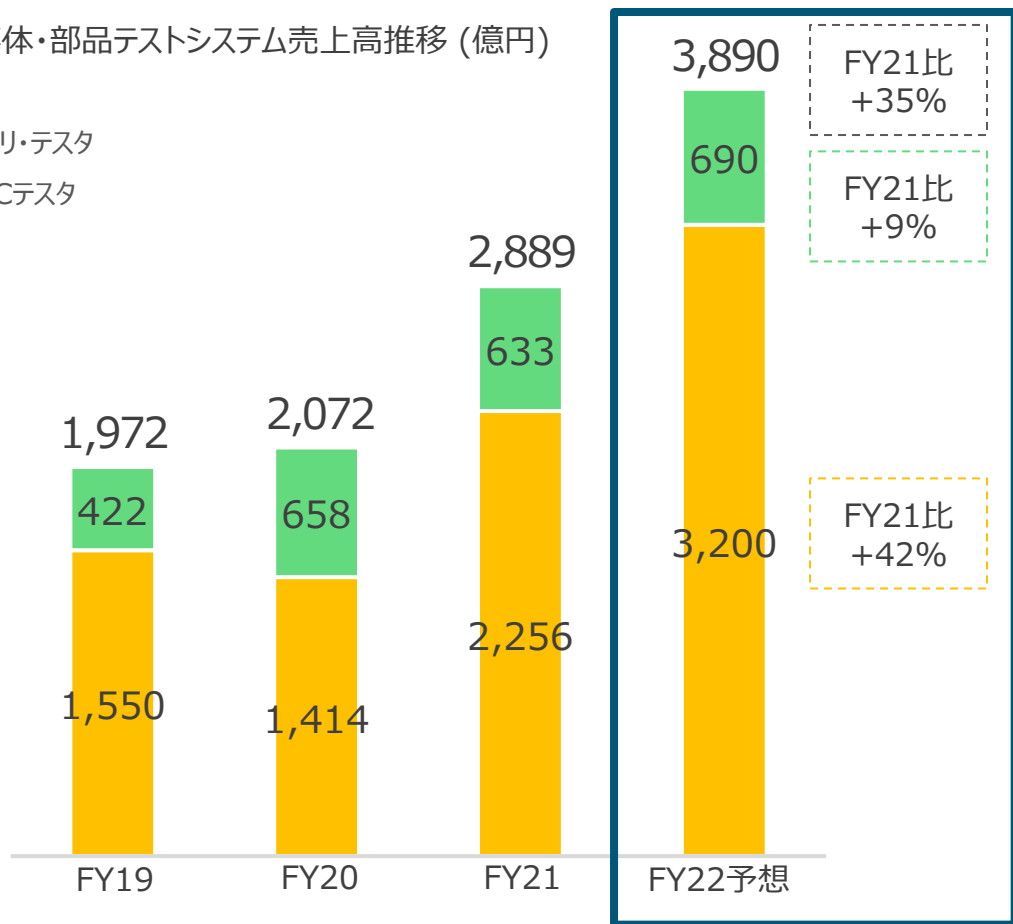
*1:合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2:為替レート変動が今年度の営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+13億円です。対ユーロは-2億円です

FY22見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）

■ メモリ・テスト
■ SoCテスト



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>（7月予想比 +55億円）

–スマートフォンなど民生品向けテスト需要の減少を、データセンターやAI関連、自動車向けなどの底堅い需要で相殺

アプリケーション別内訳	FY19	FY20	FY21	FY22(予)
コンピューティング・通信	70%	55%	60%	70%
車載・産業機器・民生・DDIC*	30%	45%	40%	30%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

<メモリ・テスト>（7月予想比 -15億円）

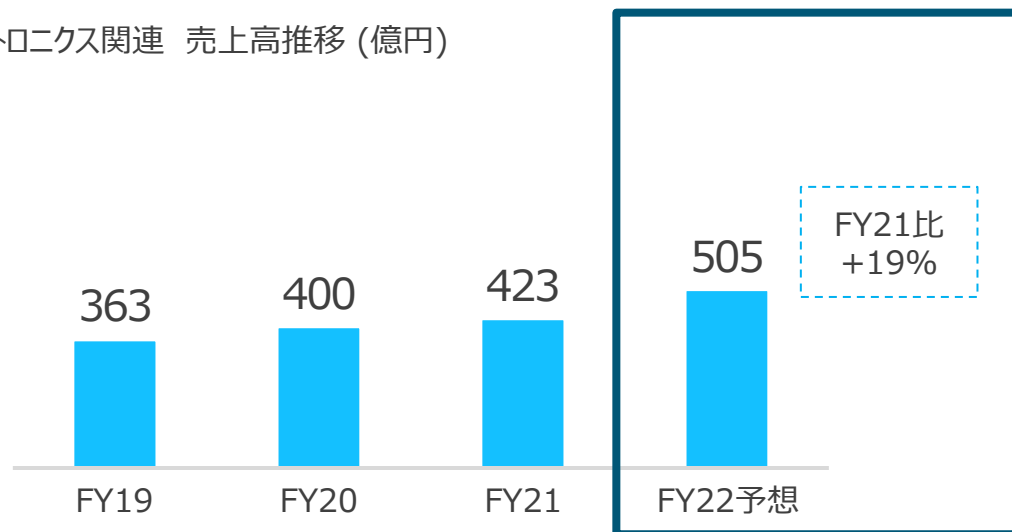
–市況軟化を受け、テスト需要への影響は一定量見込むものの、ハイエンド・メモリ向けを中心に顧客の戦略的な投資姿勢も強固。底堅い需要推移を想定

アプリケーション別内訳	FY19	FY20	FY21	FY22(予)
DRAM	70%	60%	60%	65%
不揮発性メモリ	30%	40%	40%	35%

内訳比率は実数ではなく、5%近似値で丸めて表示しています

FY22見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）

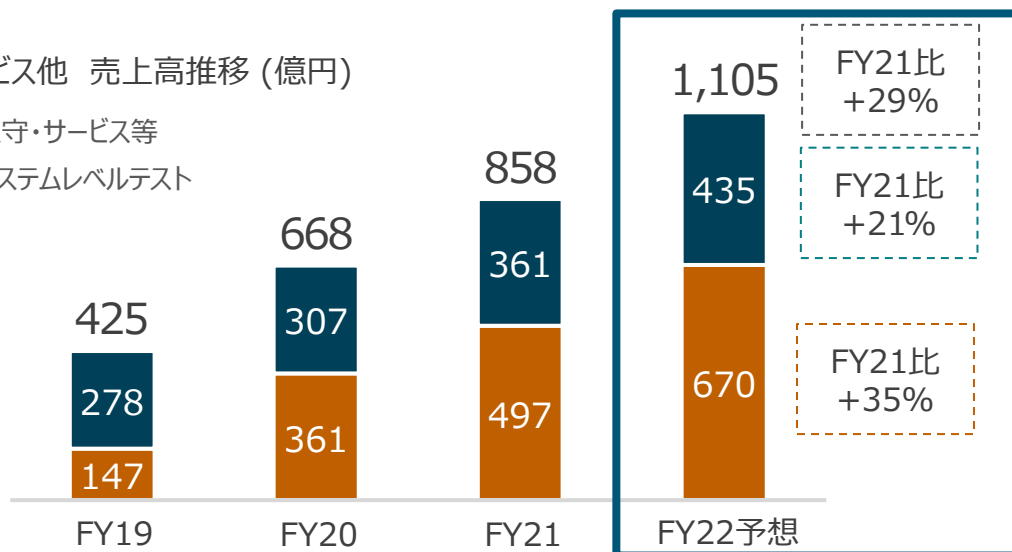


メカトロニクス関連事業（7月予想比 -35億円）

- テスタ需要と連動し、高水準なデバイス・インタフェース製品の需要を見込む
- EUV露光の普及に加え、成熟プロセス向けマスク需要増がナノテクノロジー製品の需要を牽引

サービス他 売上高推移（億円）

- 保守・サービス等
- システムレベルテスト



サービス他事業（7月予想比 -5億円）

- デバイスの信頼性要求の高まりが、システムレベルテストを採用する品種数の増加と高精度な消耗品需要の伸びを牽引
- 当社製品の設置台数の着実な伸びにより、保守サービスの需要が増加

サマリー

- 地政学的リスクの高まり、インフレ進行や金利上昇など世界経済景気後退懸念が増大
- 米国による中国向け輸出規制の強化など、半導体市場における不確実性も高まる
- 主要民生機器向けの半導体の在庫調整や、投資計画の見直しの動きがテスト需要にも一定の影響
- 半導体の技術進化がもたらすテスト量の増加、自動車や産業機器向けなどでの底堅い需要は継続
- 2022年度の通期見通しを据え置き

半導体、半導体テスト市場の構造的な変化と当社の貢献

半導体市場と顧客の変化

- ✓ 半導体の社会インフラ化
- ✓ 新たなアプリケーションの登場
- ✓ 半導体市場への新規参入者の増加
- ✓ エネルギー効率向上、高性能化を求める半導体イノベーション
- ✓ 顧客の長期にわたる戦略的な開発・設備投資



当社が蓄積する強み、資産

- ✓ 研究開発への積極的かつ持続的投資
- ✓ 広範なアプリケーションをカバーする製品ポートフォリオとプラットフォーム戦略
- ✓ 強固な顧客基盤
- ✓ グローバルに展開する顧客サポート
- ✓ 健全な財務体質
- ✓ 魅力ある企業文化醸成



顧客の課題解決

- ✓ 総合的なテストソリューションを提供し、顧客のイノベーションを加速
- ↓
- ✓ よりよい半導体の開発・提供に向けた Time to Market, Time to Quality, Time to Volume の実現
- ↓
- ✓ テストは「製造コストの一部」からテストを通じ「半導体の性能・品質へ価値」を与える役割へ

テスト需要の変動幅は縮小

持続的な競争優位性の確立

顧客の利益を拡大、テストはコストからバリュークリエイターへ

顧客との商談はすでに2024年以降へシフト
長期的な半導体市場の拡大へ向け、持続的な成長への投資を推進

統合報告書2022を発行

<2022年度版の主なハイライト>

過年度版にお寄せいただきました、ステークホルダーの皆様からの主要なフィードバックを踏まえ、財務上の実績に加えて当社の価値創造に関する取り組みや、社外取締役が語る当社のコーポレートガバナンスなどの記述を充実

- 第2期中期経営計画（MTP2）の進捗
 - CEOメッセージ（P.5-9）
 - 第2期中期経営計画（MTP2）（P.14-16）
- 非財務資本の価値創造につながる強みについて詳述（P.22-37）
- 社外取締役対談（P.65-68）



統合報告書2022 ([リンク](#))
サステナビリティ・データブック2022 ([リンク](#))

ADVANTEST®